

平成21年度  
事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	大阪狭山市商工会		
	代表者職・氏名	会長 古城 昭式		
	所在地	〒589-0021 大阪府大阪狭山市今熊1丁目540番地の3		
	担当者	職・氏名	事務局長 石田 卓也	
		連絡先	電話番号(直通) : 072-365-3194	
Fax : 072-366-8584				
		E-mail : <a href="mailto:oscsocai@silver.ne.jp">oscsocai@silver.ne.jp</a>		
設立年月日 職員数 (うち経営指導員数) 所管地域 管内事業所数 管内小規模事業者数 会員数(組織率)		昭和43年10月28日 8名(8名) (平成21年10月28日現在) 大阪狭山市の区域 1,893 (平成18年事業所統計調査による) 1,373 (平成18年事業所統計調査による) 1,571(82.99%) (平成21年10月28日現在)		
については直近の数字を記載のこと				
<b>主な事業概要(定款記載事項等)</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</li> <li>2. 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</li> <li>3. 商工業に関する調査研究を行うこと。</li> <li>4. 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</li> <li>5. 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあつせんを行うこと。</li> <li>6. 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</li> <li>7. 商工業に関する意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</li> <li>8. 行政庁等の諮問に応じて、答申すること。</li> <li>9. 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</li> <li>10. 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。</li> <li>11. 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</li> <li>12. 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</li> <li>13. 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</li> <li>14. 外国人研修生の受入に関する事業を行うこと。</li> <li>15. 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な業務を行うこと。</li> </ol>				

# 各種データ

大阪狭山市商工会

## 経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	15	0	2	2	37	1	0	0	0	57	21	113
建設業	0	14	0	4	3	3	0	1	0	0	25	18	
小売業	0	55	4	5	8	5	1	0	0	0	78	29	
卸売業	0	4	0	2	1	3	0	0	0	0	10	8	
サービス業	0	22	0	5	12	14	1	0	0	0	54	34	
その他	0	6	0	2	1	0	0	0	0	0	9	5	
小計	0	116	4	20	27	62	3	1	0	0	233	115	
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	116	4	20	27	62	3	1	0	0	233	115	

その他の内訳

( )

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	76	2	23	10	132	3	0	0	1	247	61	383
建設業	1	75	0	36	22	96	0	0	0	0	230	76	
小売業	0	63	3	29	31	71	1	0	0	0	198	56	
卸売業	0	10	2	7	9	27	0	0	0	3	58	26	
サービス業	1	57	10	39	54	209	2	1	0	0	373	138	
その他	0	37	0	14	18	27	0	0	0	1	97	36	
小計	2	318	17	148	144	562	6	1	0	5	1,203	393	
創業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
合計	2	318	17	148	145	562	6	1	0	5	1,204	394	

その他の内訳

(特産品開発1件、法律問題4件)

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

## 大阪狭山市商工会

### (1) 事業の目標

小規模事業者の抱える経営課題（税務、労務、金融、IT等）の相談・支援に関係支援機関、各専門家と連携しながら実施していき、事業の安定化と効率的な経営に貢献する。また、産業フェア、商業活性化事業等の地域活性化事業における商工会が担うその中核的役割を十分に果たしていき、地域の賑わいづくり、魅力向上、ひいては大阪狭山市の活性化に貢献していきたい。

### (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

事業者が抱えるさまざまな経営課題について、各関係支援機関や専門家と連携しながら実施した。高度な経営相談については、経営指導員が事業所の課題を要約し、各専門家へ繋げることで効率的な相談支援が実現するよう工夫した。また、経営指導員 8 人毎の巡回計画書を作成し、計画的に巡回支援を実施し、事業所のニーズ把握、経営課題解決、各種施策の普及や利用の促進に取り組んだ。

地域活性化事業に関しては、大阪狭山市や市民団体とも綿密に連携しながら事業展開することで、市民全体、地域全体への波及効果を高め、より効果の高いものになるように工夫している。

### (3) 事業を実施した効果

小規模事業者の抱える税務、労務、金融、IT等の諸問題の最も身近なワンストップ相談窓口として、きめの細かい支援業務を徹底し、経営の安定化、効率化に貢献した。また、小規模事業所における『資金繰り』に関する相談・支援に商工会が果たす役割は大きいところである。

地域活性化事業においては、昨年度に誕生したまちのマスコットキャラクター『さやりん』を介して、地域のコミュニティ・ビジネスの支援事業モデルを構築し、今後のコミュニティ・ビジネス支援事業の足がかりを今年度前半において整理したところである。

### (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

アメリカ発の金融危機から、昨今の急激な景気悪化に伴うメーカー・元請け企業との関係、個人消費の急激な冷え込み等、小規模事業者の取り組みだけでは解決しない問題が大きく経営を悪化させているという課題に直面している。また、地域活性化事業においては、事業推進を担うリーダーの不在、資金面等から商工会への期待は年々高まってきており、商工会が地域づくりの中心的な役割を担っていくことが求められている。

### (5) 来年度への取り組み

次年度以降も、小規模事業者の抱えるさまざまな経営課題に各関係支援機関、専門家団体と連携しながらきめ細かく支援していき、経営の安定化、活性化に取り組んでいく。また、まちのマスコットキャラクターを活かした商業活性化事業等、地域のコミュニティ・ビジネスを活用・支援した地域活性化事業にも積極的に取り組んでいき、地域の賑わいづくり、ひいては地域経済の活性化に貢献していくものである。

大阪狭山市商工会

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

小規模事業者のニーズ・課題把握のため、また事業所へのきめの細やかなサービスのため巡回相談を年間を通じ実施する。経営課題解決と、各種施策の普及や利用の促進が図れた。小規模事業者にとって、巡回相談は時間的にも効率的であり、経営指導員にとっても経営実態を把握でき相談する効果は大きいものであったと考えている。実績は233件。経営指導員8人毎の計画書を作成し、計画的に実施展開した。窓口相談は、小規模事業者にとって抱える様々な経営課題について、ワンストップ的に相談できるメリットが認められるとともに、地域活性化事業において個店の魅力づくりに取り組む活動と平行しながら、継続的な相談・支援を実施していくことでその相乗効果も図れた。実績は、1,204件。

	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	400	233	58.3%	80.0	5
窓口相談	相談件数	2,000	1,204	60.2%	80.0	5

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

小規模事業所が抱える税務面・法律面に係る高度な課題を税理士・司法書士の個別相談会へと経営指導員がコーディネートすることで解決し、効率的な経営に資する効果が認められた。経営指導員が事業所の課題を要約し、各専門家へ繋げることで効率的な相談支援を目指した。金融支援に関しては、日本政策金融公庫堺支店と綿密に連携し、事業所における円滑な『資金繰り』に貢献したところである。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	斡旋件数	25	8	32.0%	80.0	5
法務支援	継続	事業所数	24	8	33.3%	80.0	4
税務支援	継続	事業所数	500	10	2.0%	80.0	4
記帳支援	継続	事業所数	10	10	100.0%	80.0	4

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

小規模事業者が抱えるさまざまな分野の経営課題についてテーマを設定し、実施展開した。参加事業者の満足度を高めるため、制度改正等、より実践的、現場的なものをテーマとして掲げ実施した。また、高齢化する事業者向けへ相続セミナーを実施する等、管内事業所の特長を反映させるよう努めた。管内事業所へは、商工会報(年6回発行)、商工会HP、市役所窓口等で随時PRし、また経営指導員の巡回相談においても該当するような事業所への情報提供に努めたものである。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	IT講習会	継続	参加事業所数	50	46	92.0%	80.0	4
	労働セミナー	継続	参加事業所数	15	23	153.3%	80.0	4
	金融セミナー	継続	参加事業所数	10	8	80.0%	80.0	4
	金融セミナー	継続	参加事業所数	10				-
	税務セミナー	継続	参加事業所数	15				-
	相続セミナー	新規	参加事業所数	10	8	80.0%	80.0	4
	簿記講習会	継続	参加事業所数	80				-
	人権講習会	継続	参加事業所数	20				-
	決算講習会	継続	参加事業所数	20				-

地域活性化等事業

支援のポイント・成果

小規模事業所、商店会単独では取り組めない事業を商工会が中心となり、参加小規模事業者の賑わいづくり、魅力向上、ひいては大阪狭山市の活性化に貢献する各種事業を展開する。各事業は、大阪狭山市や市民団体と綿密に連携しながら実施し、市民全体への波及効果を高め、地域活性化を図っていくものである。特に昨年に誕生したまちのマスコットキャラクター『さやりん』着ぐるみにおいては、地域のコミュニティ・ビジネスと連携し、一定の事業性を持たせることで、事業の継続化、安定化や充実、発展につなげることができるよう事業展開した。今後、地域資源であるキャラクターを介したコミュニティ・ビジネス支援事業の輪を拡大する足がかりを整えたと捉えている。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	地域創造ファンド	継続	認定件数	1	0	0.0%		-
○	商業活性化事業	継続	参加店舗数	80	80	100.0%	80.0	5
	展示商談会事業	継続	参加事業所数	40	22	55.0%	80.0	5
	大阪ミュージアム構想事業	新規	参加事業所数	10	12	120.0%	80.0	5
	大阪勧業展事業	継続	参加事業所数	2	1	50.0%	80.0	5
	松原産業フェア事業	継続	参加事業所数	5				-
	地域力連携事業	継続	参加事業所数	3				-

大阪狭山市商工会

事業名	マスコットキャラクターを活用した商業活性化事業				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	20 年 (開始) ~ 23 年 (終了)		今年度 2 年目		
実施期間全体を通じて予定している事業計画	まちのマスコットキャラクター『さやりん』を活用した事業を展開することで、『さやりん』を地域資源として育てるとともに、地域商業の活性化に寄与する。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	平成20年11月に市・商工会が中心となり、まちのマスコットキャラクター『さやりん』が誕生した。商工会では、地域商業活性化のため、府の助成施策（商店街等魅力向上促進事業）を活用しエコバッグキャンペーン事業を展開した。市の広報や新聞に度々掲載されたこともあり、反響は大きいものであった。小規模商店における魅力づくりに寄与した効果が認められる。			
本事業の対象となる地域の現状や課題	大阪狭山市における産業の構成比は、18年度で第1次・第2次産業あわせて298件（15%）、第3次産業は1,649件（85%）を占めており、大阪狭山市は数の上では商業のまちといえる。（事業所統計）小売業の状況については、商店数は平成6年度（486件：5,705千万円）から10年後の16年度（432件：4,983千万円）で54件の減少となっており、年間販売額も減少傾向にある。（商業統計）また、地域資源としては、狭山池・天野街道・大野ぶどう・横編ニットが認定されているが、新たな地域資源の創出が課題となっている。				
目標に対する実績	指標	参加店舗数			
	目標数値	80	実績数値	80	達成率 100.0%
目標	昨年度（70店）以上の参加店としたい。また、参加店における魅力づくりに貢献し、参加店の満足度を高いものとしたい。また、大阪狭山市、市民団体とも綿密に連携しながら、市全体、市民への波及効果を高めれるように取り組みたい。				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	日本最古の溜池『狭山池』をシンボルとし、他の溜池等を含む水面面積が市域の7.1%を占める水と緑豊かなまち『大阪狭山市』（水の郷100選：国土交通省）のマスコットキャラクター『さやりん』を活用し、商業のまち大阪狭山市の活性化に寄与することを目的に実施する。今年度前半においては、『さやりん』着ぐるみ出張に関する仕組みづくりを構築し、歳末セール出張の基盤を整理した。出張に関しては地域のコミュニティ・ビジネスを活用・支援し、一定の事業性を確保することで継続的に活動できるようにし、事業の安定化や充実、発展につなげることができるよう事業展開した。歳末には市内5商店会（約80店）において、商工会が制作する『さやりん』グッズを活用した販促セールを実施し、商業の賑わいづくりに取り組んでいく計画である。また、2月上旬に実施される大阪まるごと大売出しセールにも、積極的に参加し、冷え込んだ消費の刺激に貢献していきたい。				
マスコミ等に取り上げられた回数	0回（市広報：0回、新聞：0回）				
PR方法とその影響	大阪狭山市マスコットキャラクター運営委員会（大阪狭山市・社会福祉協議会・狭山池まつり実行委員会・商工会）を8月26日に設立し、『さやりん』公式HPを開設する。（11月中旬予定）HP上で、グッズを活用した歳末セールを紹介、PRしていく計画で、新たな顧客層の来店が期待できるとともに、大型店・チェーン店との差別化が見込まれる。また、産業フェア（11月21日）においても、着ぐるみとともにチラシ配布を行い、PRに努める。				
利用者満足度（点）	80点				
事業評価	5				
実施した効果	各商店会、各小規模商店単独では取り組めない事業を市・商工会・商店会が一体となって地域商業の賑わいづくりに取り組むことで、波及効果を高める効果が見込まれる。				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	一過性のものに終わらせてはならないという課題はあるのではないかと考えている。そのため、活性化事業と平行して商店への経営支援も併せて行い、商工会事業の相乗効果を高めたい。また、地域資源であるマスコットキャラクターを介し、コミュニティ・ビジネス支援の輪が拡大するように事業展開を図っていきたい。				
事業全体の収支状況	収入（実績）		支出（予定）		
	大阪府補助金	1,250,000円	活動費	320,000円	
	商工会	250,000円	事務費	0円	
	参加店負担金	210,000円	通信運搬費	0円	
			広告宣伝費	0円	
			消耗品費	0円	
			HP制作費	0円	
	計	1,710,000円	計	320,000円	